

Microsoft Azure移行サービス

ITで豊かな未来を創る
 SystemEXE

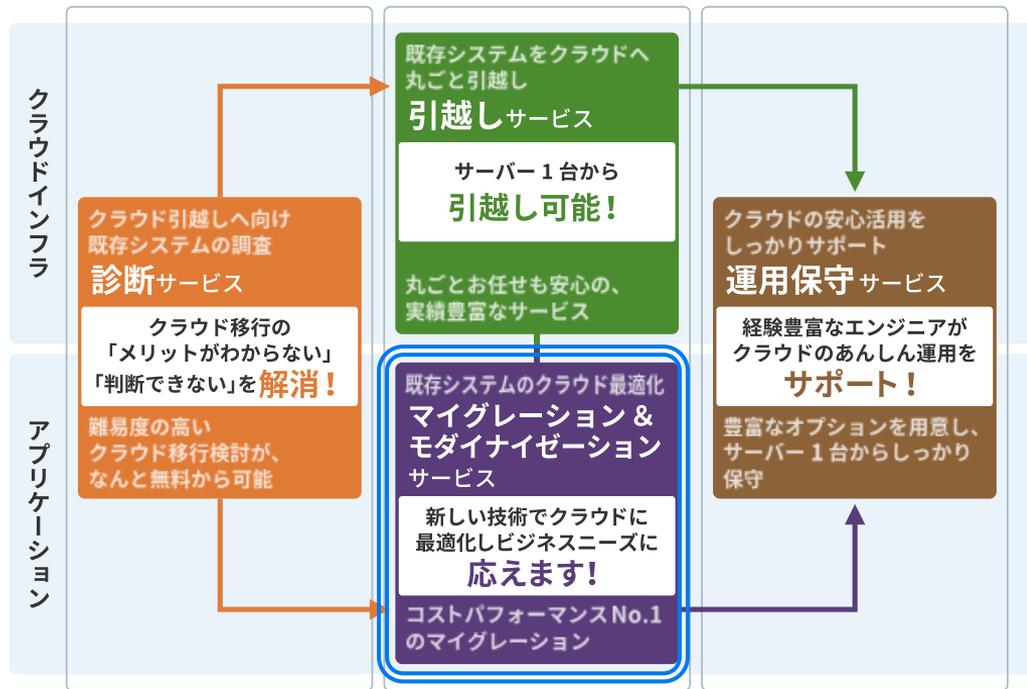
Microsoft Azure移行サービス概要



1-1. Microsoft Azure移行サービス

クラウド移行の際にはシステムが求める品質と各クラウドサービスの品質特性をしっかりと見極めたシステム構成を検討する必要があります。

ITインフラから業務アプリケーションまで全てのレイヤにおいて、コンサルティングから引越し、引越し後の運用保守までワンストップでお任せいただけます



引越しサービス(リフトアンドシフト)はもちろん、クラウド移行に合わせてシステムのマイグレーション&モダナイゼーションにより、クラウドに最適化し、あらゆるビジネスニーズに応えることができるシステムを実現します。

1-2. 移行先にMicrosoft Azure をオススメする3つの理由

親和性

Windows Serverなど
Microsoft社製品と親和性が高い

馴染みのある、WindowsOSをベースにして構築されているクラウドサービスであり、Microsoft製品との親和性が高いことが特徴です。



シームレス

オンプレミスとのシームレスな連携

Azure Active Directoryは、既存のオンプレミス環境に存在するActive Directoryと容易に連携を行うことができ、ハイブリッドクラウド構成を実現する基盤として適しています。



クラウドネイティブ

クラウドネイティブな
ビジネスアプリケーション開発

ユーザー自らがクラウドネイティブなビジネスアプリケーション開発に取り組むことで、ビジネス要件を満たしながら実用的なアプリを素早く生み出せます。



1-3. システムエグゼの強み

技術、業務に特化し専門性を追求したソリューションを展開。 それぞれが連携することによるシナジー効果

それぞれの技術、業務に精通したエンジニアが在籍しており、相互に連携することでお客様のニーズに柔軟に対応することが可能です。

また、オフショアを利用することでコストを抑えた開発体制を整えることも可能です。

技術 ソリューション

- クラウドインテグレーション
- データベース
- ビジネスインテリジェンス
- セキュリティ
- AI・RPA



業務 ソリューション

- 損保・生保ソリューション
- 不動産ソリューション
- 製造ソリューション
- 医療ソリューション
- 石油・化学ソリューション



グローバル ソリューション

- オフショア(ベトナム)

2

Microsoft Azure移行サービス詳細

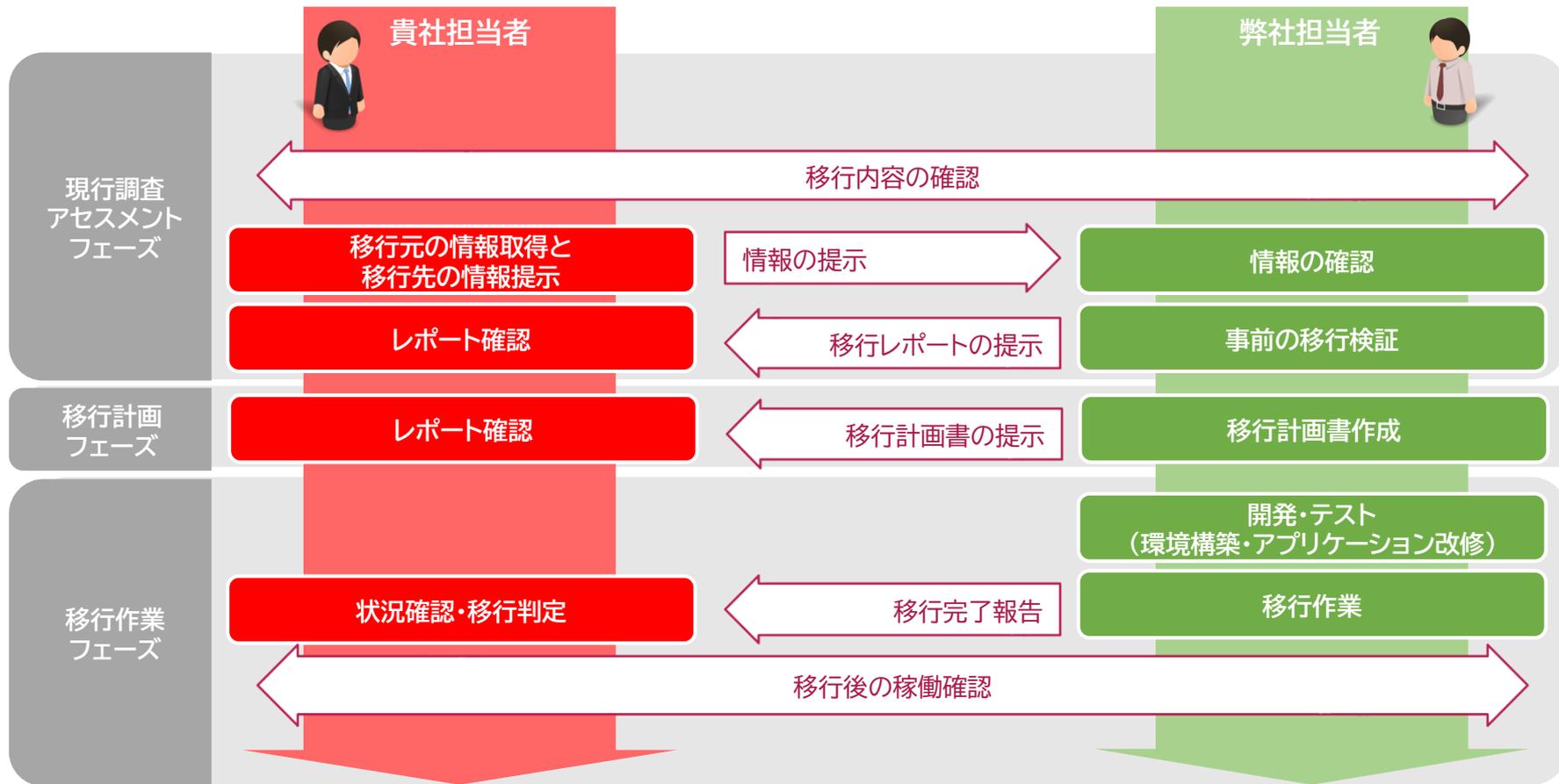


2-1. 移行サービスの流れ

3つのSTEPで移行サービスを提供します。



2-2. 移行作業の流れと役割分担



2-3. 移行サービス STEP1:現行調査/アセスメント

STEP
1

現行調査/アセスメント(1DB:50万～、1アプリ:50万～、1システム基盤:30万～)



現在稼働中のデータベース構成情報や稼働状況、アプリケーションのソースコードを調査分析し、移行関連作業の評価やコストのシミュレーションを実施します。
収集した情報は調査報告書にまとめ、説明を交えてご報告します。

■ 現行調査

【DB】ヒアリングまたは実環境にて稼働中のデータベース構成情報(オブジェクト数、データ量)を確認します。

【アプリ】アプリケーションのソースコードを確認します。

【インフラ/ネットワーク】機器一覧や製品一覧、ネットワーク構成図などを確認します。

■ 移行評価

【DB】お客様環境にて移行シミュレーションを行い、移行ツールで移行可能なオブジェクトや、手動での改修及び移行が必要なオブジェクトの割合を算出し、移行作業におけるコストを確認します。

また、お客様環境を使った移行シミュレーションができない場合には、オブジェクト定義(データは不要)を取得し、弊社内の疑似環境にて移行評価を実施します。

【アプリ】ソースコードの解析と非互換調査を行い、移行評価を実施します。

【インフラ/ネットワーク】各製品やネットワーク構成上の特性を踏まえ、クラウド移行時に考慮すべき点を洗い出します。

■ アセスメント報告

現行調査と移行評価の結果を調査報告書にまとめ、結果を報告します。

アセスメント結果より移行計画、移行作業の費用算出を行います。

2-4. 移行サービス STEP2:移行計画

STEP
2

移行計画



アセスメントの結果を基に移行計画の立案を行います。

■ 移行計画

移行時の制約やデータベース停止可能時間等の要件をヒアリングし、アセスメント結果と合わせて最適な移行スケジュールと移行方針を立案します。



■ 事前検証

お客様の環境で移行計画を基に移行手順の確立と課題の洗い出しを事前に実施します。



■ 移行ドキュメントの作成

事前検証後に移行計画書と移行手順書を修正し、お客様レビューを実施します。

2-5. 移行サービス STEP3:移行作業

STEP
3

移行作業



移行作業を実施します。

■ クラウド環境構築

移行先となるクラウド環境の設計・構築・テストを実施します。



■ アプリケーション改修

アセスメント結果と構築したクラウド環境を使い、アプリケーションの改修・テストを行います。



■ ユーザーテスト

移行先のクラウド環境と改修したアプリケーションを使って、現行システムを利用しているユーザーに動作確認を実施いただきます。

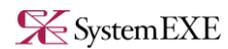


■ 移行リハーサル/本番移行

移行計画で策定した移行手順書を基に、お客様の検証環境にて移行リハーサルを実施し、お客様へリハーサル結果を報告します。リハーサルの結果より本番移行に向けて修正や再レビューをした移行手順書を使い、本番移行を実施します。

3

データベースとアプリケーションの移行



3-1. データベースのクラウド移行

Microsoft Azureでは豊富なデータベースサービスを提供しています。
 SQL Serverの移行先としては、用途に合わせて5つの移行先サービスが用意されています。
 SQL Server以外の各データベースの移行先サービスも用意されています。

	Azure SQL Database	SQL Server Upgrade	Azure SQLDB MI	SQL Server on Azure VMs	SQL Data Warehouse	SQL Server	Azure Database for PostgreSQL	Azure Database for MySQL	Azure Cosmos DB
SQL Server	✓	✓	✓	✓	✓				
Oracle	✓		✓		✓	✓	✓		
DB2	✓		✓			✓			
MySQL						✓		✓	
PostgreSQL							✓		
mongo DB									✓

3-2. アプリケーションのクラウド移行方式

リフトアンドシフト

現在の環境をそのまま移行し、変更の必要がある箇所のみ改修を行います。移行後にクラウドのサービスを活用できるよう徐々に変更を加えていく方式です。

メリット

- 短期間でクラウドへの移行ができる
- クラウドへの移行費用が安価
- 移行ツールを活用できる

デメリット

- トータルコストが増加しやすい
- クラウドのメリット(自動拡張など)を活かしきれない

リファクタリング

現在のアプリケーションをクラウドの制約・特徴・サービスに合わせ、クラウドネイティブなアプリケーションとして再設計および再構築する方式です。

メリット

- クラウドで提供されるサービスを活用することでクラウドのメリット教授できる
- 中長期的な観点でトータルコストの最適化が可能

デメリット

- 移行までに長期間の工期を要する
- アーキテクチャを変更するため難易度が高く高額な費用を要する

リプレース

現在のアプリケーションを破棄し、クラウド業者からSaaSなどで提供されるアプリケーションやサービスで構築する方式です。

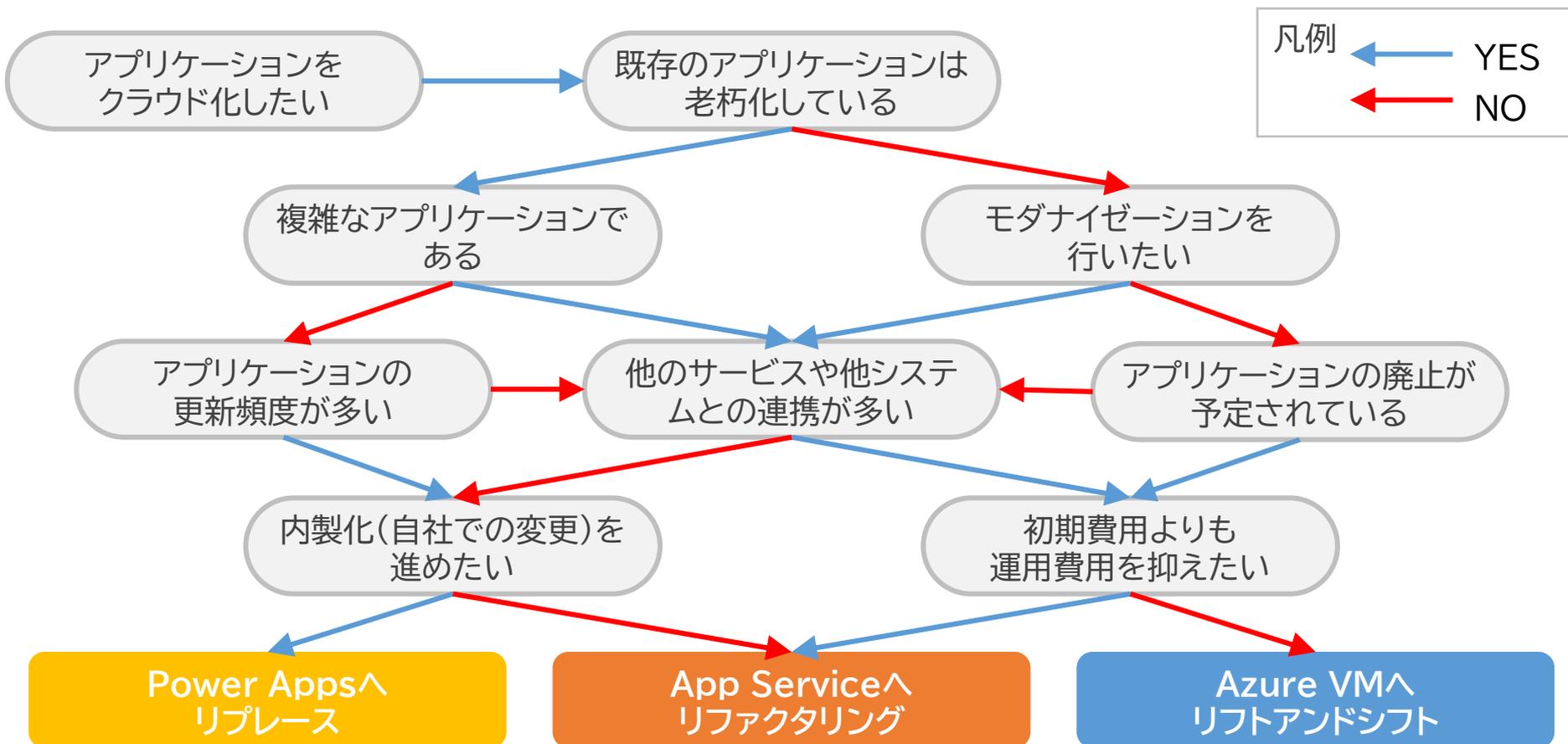
メリット

- システム運用業務の削減
- 内製化が可能となる(Power Appsの場合)

デメリット

- 業務を提供されているサービスに合わせる必要がある
- サービスによっては、ベンダーロックインとなる

3-3. アプリケーションのクラウド移行方式の選択



Appendix

関連サービス



データ分析プラットフォーム構築サービス for Microsoft Azure

データを収集するだけでは、ビジネスに付加価値をもたらすことはできません。
データ分析によりインサイトを得て、ビジネスの成長に役立てる必要があります。

「データ分析プラットフォーム構築サービス for Microsoft Azure」は、Azureのクラウドサービスを活用し、お客様のデータを収集から分析、可視化まで行える環境を構築し、お客様のデータ分析によるビジネスの成長をご支援いたします。

データ分析プラットフォーム構築サービス for Microsoft Azure



Synapse Analytics



BIツール・ダッシュボード

Power BI

収集

Ingest

蓄積

Store

変換
加工

Transform

集約
集計

Query

分析
可視化

Visualization
Analysis

サービス一覧

1. 現行調査・アセスメント



2. PoC環境構築、支援



3. データ分析プラットフォーム構築

データからインサイトを！インサイトから成長につながる戦略の糸口を！

ご高覧ありがとうございました

本書に関するお問い合わせ先

株式会社システムエグゼ

TEL : 03-5299-5351

E-Mail : mktg@system-exe.jp

URL: <http://www.system-exe.co.jp>

〒103-0022
東京都中央区日本橋室町3-4-4 OVOL日本橋ビル7階

登録商標

本文に記載されている商品名、社名は、各社の商標および登録商標場合があります。

本資料には当社の機密情報が含まれておりますので、当社の書面による承諾なく第三者に開示することはできません。

また、当社の承諾を得た場合であっても、本技術情報は外国為替及び外国貿易管理法の定める特定技術に該当するため、非居住者に提供する場合には同法に基づく許可を要することがあります。

本文に記載されている商品名、社名は、各社の商標および登録商標場合があります。

ITで豊かな未来を創る
 SystemEXE